

年度	2025	開講学期	前期	単位数	2	時間割コード	QC52
授業科目名	情報基礎 A			担当教員名	白倉 孝行		
授業科目名：英語	Basic Computer Science A						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード		【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）	
	1	月	3	QC52			
主な対象学生	人文社会科学部 1						
科目の情報	科目の種別	教養教育科目		科目番号	GIS111B		
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件							
担当教員情報	氏名（カナ）	白倉 孝行（シラクラ 孝行）					
	担当教員名（英語）	Shirakura Takayuki					
	常勤・非常勤	非常勤					
	所属						
	研究室						
	公式サイト	researchmap：https://researchmap.jp/read0180236					
	個人サイト						
質問・相談方法	随時						
他の担当教員							
キーワード	ICTリテラシー literacy of information and communication technology、情報探索 information search、情報デザイン information design、ソフトウェアの活用 utilization of elementary application softwares、データサイエンス mathematical data science、著作権 copyright、数値データ						
学位授与方針との関係	学位授与の方針：学士課程						
	幅広い基礎的知識：文化・社会・自然に関する諸現象についての学問的な基礎的知識を有する						10%
	学位授与の方針：学士課程						
	領域を超えた学際的知識：グローバル化、高度情報化、環境問題や持続可能性等の人類的諸課題を正しく捉えるための学際的知識を有する						10%
学位授与の方針との関係	学位授与の方針：学士課程						
	情報リテラシー：多様な情報を適切かつモラルに則って収集・処理・分析し、その結果を有効に活用できる						80%
授業の目的	以下の諸点を本授業の目的とします。 ・情報および情報手段を活用できる基礎的な知識や技能を習得すること ・情報や情報手段を適切に取捨選択し、思考や意思決定に活かすための能力を身につけること ・今後の情報社会を情報社会に参画する上で望ましい能力と態度を身につけること						
到達目標	<p>【ウェブ等を活用した情報収集能力&ネットワークコミュニケーション能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ等を利用し、必要な情報を確実に抽出できる。またその情報の信憑性について判断することができる。 ・ウェブ社会のこわさや可能性などについて説明できる。 ・電子メールのマナーについて説明できる&マナーにのっとったビジネスメールを送ることができる。 <p>【ICT基礎知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータやインターネットに関する基礎知識を身につけ、他人に説明できる。 ・ネットワークを利用する上で守るべきこと、気を付けるべきこと（情報セキュリティや情報倫理を含む）について他人に教示できる。 ・データサイエンスに関する基礎的な知識を身につけ、他人に説明できる。 <p>【コンピュータ活用能力（文書作成&データ処理能力）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種の文書（定型文書・レジュメ等）を適切に作成できる。 ・簡単なデータ分析とその結果の視覚化を行うことができる。 ・コンピュータやネットワーク利用中のトラブルを自力で解決できる。 <p>【情報デザイン能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインされたコンテンツを評価するまなざしを持つ。 ・見る人の立場に立って、コンテンツ（地図等）を作ることができる。 						
授業の概要	コンピュータやネットワークを利用する能力はすでに現代人には不可欠のものとなっています。ただし、「とにかく使える」というだけでは、もはや充分とはいえません。この授業では、コンピュータやネットワークについての基礎知識を学び、また実習課題を通して基本的スキルを身につけていく中で、「いかに賢く使いこなすか」、「刻々と変化するであろう情報環境にいかに対応できるようになるか」といったことを自覚的に考えながら学んでもらえるようにしたいと思っています。						
実務経験の有無と授業内容への反映							

授業の形式	<ul style="list-style-type: none"> ・講義とコンピュータ実習を適宜おり交ぜながら授業を進めていきます。 遠隔授業への該当（全授業回の半数を超えてオンライン授業を実施する場合） 【しない】		
授業外学修（予習・復習・課題等）への指示	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題の一部は授業時間外に作成してもらいます。 ・知識の定着をはかるためにテストを行います。 		
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）			
回/週	授業内容	授業外学修（予習・復習・課題等）への指示	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的・目標の説明【講義】 ・情報探索1【講義】 情報探索を行う上での基礎知識 	学内情報システムを使うための環境整備（多要素認証など）	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報探索2【講義・実習】 学術情報へのアクセス ウェブ上の情報の信憑性をどう判断するか？ ウェブ社会のもつこわさ ウェブの価値 	関心のあるテーマについての論文を見つける	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メール1【講義】 電子メールの基本 メール作成の作法 ・電子メール2【実習】 メール作成 	メール課題	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ【講義】 ウィルス・ワーム ウィルス対策 ・情報倫理【講義】 ネチケット 著作権 その他 	自己のセキュリティ対策のチェック	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータに関する基礎知識1【講義】 コンピュータの構成要素 ・情報デザイン1【講義】 情報デザインとは 情報をデザインするうえで大事なこと ・情報デザイン2【実習】 地図の作成 	講義内容についての復習	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・情報デザイン3【実習】 地図の作成 ・文書作成1【講義】 Wordに関するいくつかのポイント 	地図課題完成	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータに関する基礎知識2【講義】 ソフトウェア・ハードウェア・OS プログラミングについて アルゴリズムについて ・文書作成2【実習】 定型文書の作成 	講義内容についての復習	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータに関する基礎知識2【講義】 情報の表現方法（文字・画像など） 記憶装置の容量とデータのサイズについて 	講義内容についての復習 定型文書課題の完成・提出	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスについて【講義】 	講義内容についての復習	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算1【実習】 表計算の基礎 データベース機能の利用 	実習内容の反復操作	
11	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算2【データサイエンス実習】 データ分析 分析データの可視化 調査データの集計・分析 	データ分析課題の復習	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算3【問題演習】 演習問題の解答・解説 	演習問題の復習	
13	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストマイニング【データサイエンス実習】 ・生成AIとデータ倫理【講義及び実習】 	テキストマイニング課題の復習 生成AI課題の復習 授業全体の復習	
14	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト 		

15						
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
			関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	平常点・ミニ課題	30%				
	実習課題・提出課題	30%				
	期末テスト	40%				
評価の基準						
<p>平常点：授業への参画態度、ミニ課題などにより評価します。</p> <p>実習課題・提出課題：各課題の実施状況、クオリティを評価します。</p> <p>提出課題</p> <p>自作地図画像</p> <p>文書作成課題（定型文書等）</p> <p>そのほか</p> <p>テスト：（100点満点で80点以上を目指してください）</p>						
履修における留意点						
教科書 / 教材						
参考文献	岩手大学情報教育教科書編集委員会、情報基礎、学術図書出版社、2022年、978478061002					